

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

アジア経済概況（2006年3月）

【目次】

・中華圏・韓国

- 1. 中国経済の概況・・・投資と輸出の増勢持続で景気拡大続く ... p.1
- 2. 中国の主要指標解説：06年の経済運営目標～成長率は8%前後 ... p.3
- 3. 台湾経済の概況・・・輸出の堅調を背景に景気の回復が続く ... p.4
- 4. 韓国経済の概況・・・輸出堅調と内需持ち直しで緩やかに景気回復 ... p.5

・ASEAN・インド

- 1. タイ経済の概況・・・輸出の堅調を背景に緩やかな景気回復続く ... p.6
- 2. インドネシア経済の概況・・・物価高・金利高から景気は減速気味 ... p.7
- 3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 ... p.8
- 4. インド経済の概況・・・05年10～12月期のGDP成長率は7.6% ... p.9
- 5. ASEAN経済の注目点・・・外貨準備の大幅増とインフレ懸念 ... p.10

・アジア通貨・株価動向 ... p.11



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

調査部

【お問い合わせ先】海外経済班

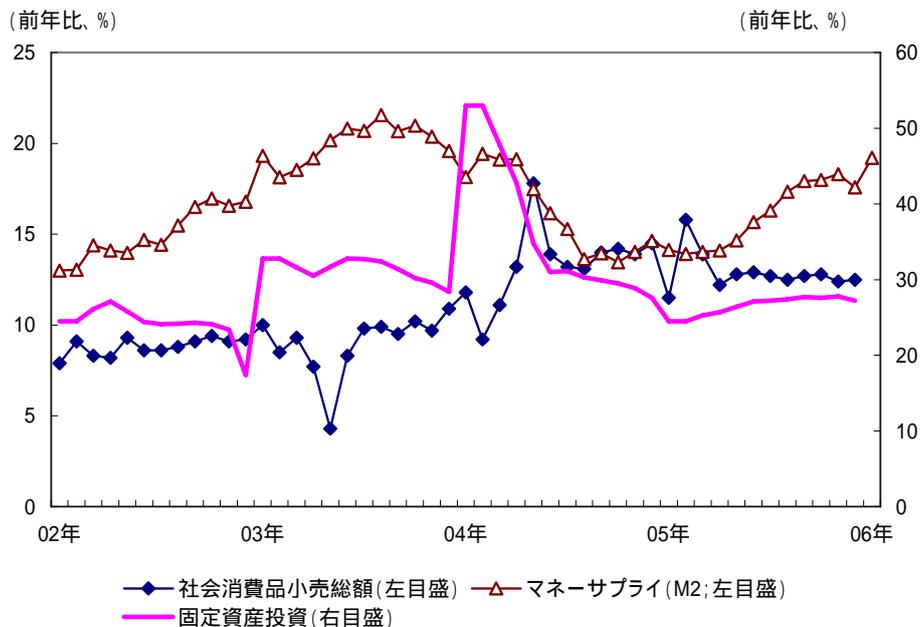
野田（E-Mail：mariko.noda@murc.jp）

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

．中華圏・韓国

1 ．中国経済の概況

- ・ 投資の増勢持続と輸出の好調を背景に、景気の堅調な拡大が続いている。05年1月の輸出は、機械・電気機器を中心とした米国、EU向けの輸出を牽引役に前年同月比28.0%増となった（対米、対EU向け輸出の伸び率はそれぞれ同30.9%増、21.3%増）。また、ロシア向けの輸出が、これら主要国に比べて輸出全体への寄与度は小さいものの、電気機械に加えて繊維製品輸出の拡大などから前年同月比54.1%増と大幅に増加していることが注目される。その他インド向け、中東諸国向けの輸出も大きく伸びており、従来からの主要輸出市場である欧米との間で貿易摩擦が高まる中で、中国が輸出市場の多角化を着実に進めており、これが足元の輸出堅調の一要因となっていることがうかがえる。
- ・ 一方、輸入は機械類並びに原油を中心に1月も前年同月比25.4%増と高い伸びが続いており、1月の貿易黒字額は95億ドルと4ヶ月ぶりに100億ドル台を下回った。ただし、春節で休日が多かったことを考えると大幅な黒字基調は依然、続いていると考えられる。
- ・ 1月の消費者物価は、食品の値上がり（前年同月比3.6%）から同1.9%と前月（同1.6%）より加速した。ただし、これは春節（旧正月）期の食品需要の拡大によるもの（昨年の春節は2月）と見られ、春節要因を除けば、物価は依然として安定基調にあると見られる。また、1月のマネーサプライ伸び率が同19.2%増と加速したのも同様の要因によると考えられる。



(注) 固定資産は年初からの累計の前年比、04年以降は都市部・投資額50万元以上のみ。
(出所) CEIC 他

【中国・香港の主要経済指標】

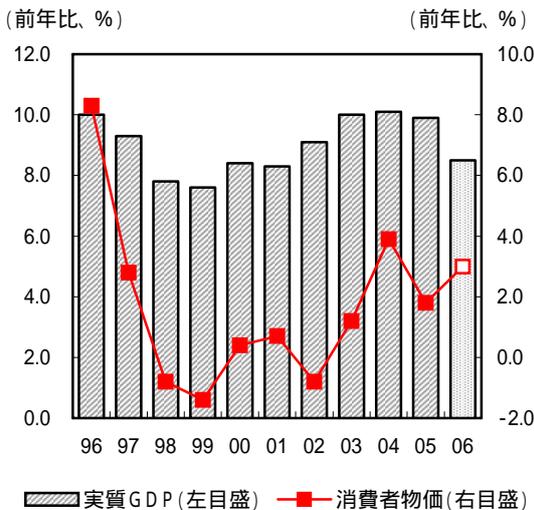
			2003年	2004年	2005年	05/1Q	05/2Q	05/3Q	05/4Q	05/11月	05/12月	06/1月	06/2月	
中国	GDP	実質GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	10.0	10.1	9.9	9.9	10.1	9.8	9.9				
		名目GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	12.9	17.7	14.0	15.6	14.7	14.1	14.0				
	消費	社会消費品小売総額	前年比%	9.0	13.3	12.9	13.7	12.6	12.6	12.6	12.4	12.5		
		うち市	前年比%	14.9	20.6	13.8	14.7	13.7	13.6	13.3	13.2	13.2		
		うち県	前年比%	12.7	18.6	11.7	12.8	11.0	10.6	12.3	12.1	12.3		
		うち県以下	前年比%	9.2	12.8	10.6	11.2	10.3	10.6	10.5	10.2	10.6		
		自動車販売台数	前年比%	33.5	16.9	13.8	0.8	19.3	15.5	20.8	21.7	27.6	44.8	
		うち乗用車	前年比%	71.5	19.3	21.5	9.3	26.6	32.0	35.8	40.8	33.8	93.2	
		消費者自信指数	期中平均	93.1	92.9	94.2	93.9	94.5	94.4	93.9	93.6	94.3	94.5	
		消費者期待指数	期中平均	92.4	91.7	95.1	94.6	95.2	95.3	95.4	95.2	95.9	95.8	
	投資	固定資産投資 (都市部・50万円以上; 累計ベース)	前年比%	28.4	27.6	27.2	25.3	27.1	27.7	27.2	27.8	27.2		
		うち不動産・居住用建物	前年比%	29.7	25.3	19.6	24.4	20.0	19.5	19.6	20.3	19.6		
		うち国内企業	前年比%				25.5	27.7	28.4	28.5	28.8	28.5		
		うち製造業	前年比%				25.6	35.1	36.1	38.6	38.0	38.6		
		うち鉄鋼	前年比%				1.4	18.6	23.4	27.5	21.1	27.5		
		うち輸送機械	前年比%				41.5	46.9	47.7	51.1	55.2	51.1		
		うち電気機械	前年比%				40.2	56.3	51.5	44.9	50.6	44.9		
		うち情報通信機器	前年比%				40.3	32.3	19.1	18.2	20.5	18.2		
		直接投資契約額 (累計ベース)	前年比%	39.0	33.4	23.2	4.5	19.0	21.8	23.2	24.0	23.2		
		直接投資実行額 (累計ベース)	前年比%	1.4	13.3	0.5	9.5	3.2	2.1	0.5	1.9	0.5	11.0	
不動産景気指数	期中平均	107.1	105.8	101.9	102.8	101.8	101.0	101.1	100.9					
貿易 及び 外貨 準備	貿易収支	10億ドル	25.4	32.8	102.1	16.6	23.3	28.7	33.6	10.5	11.0	9.5		
	輸出 (ドルベース)	前年比%	34.6	35.4	28.4	34.7	30.9	29.1	21.7	18.5	18.2	28.0		
	輸入 (ドルベース)	前年比%	39.9	35.8	17.7	12.2	16.0	19.6	22.1	20.9	22.2	25.4		
	対米貿易収支	10億ドル	58.6	80.3	114.2	21.4	27.7	32.1	33.0	11.0	10.4	10.1		
	対日貿易収支	10億ドル	14.8	20.7	16.4	2.8	3.1	5.1	5.4	1.8	2.2	0.6		
	外貨準備	期末10億ドル	403.3	609.9	818.9	659.1	711.0	769.0	818.9	794.2	818.9			
生産	鉱工業付加価値額	前年比%	16.7	16.3	15.9	14.5	16.5	16.2	16.4	16.6	16.5			
	うち国有企業	前年比%	14.1	13.7	10.7	10.9	11.1	11.2	9.6	9.6	10.3			
	うち株式企業	前年比%	18.0	16.6	17.3	15.8	18.8	17.7	16.9	17.5	16.8			
	うち外商・港台澳企業	前年比%	19.6	18.5	15.8	13.7	15.1	16.7	17.6	17.9	16.8			
	在庫額	前年比%	10.1	20.2	21.0	21.0	20.3	21.5	21.0	21.5	18.6			
	うち鉱物	前年比%	2.8	20.8	42.4	44.9	39.0	40.6	45.0	45.8	41.2			
	うち素材	前年比%	8.6	25.4	27.1	25.3	25.7	29.2	27.8	28.4	23.5			
	うち機械	前年比%	17.9	19.5	16.7	19.3	16.4	16.2	15.5	15.8	13.9			
発電量	前年比%	14.2	15.0	13.4	14.7	13.7	13.6	11.8	9.9	16.3				
所得 雇用	都市家庭一人当たり所得	前年比%	12.0	11.8	11.8	11.5	12.4	12.4	10.8	11.3	11.1	16.4		
	鉱工業雇用者数	前年比%	11.9	7.2	8.8	4.9	9.3	10.3	10.6	11.1	11.2			
	労働力市場求人倍率	期末	0.88	0.94	0.96	0.94	0.95	0.97	0.96					
物価	製造業/全産業求人比率	期末%	31.6	31.9	30.8	33.5	31.9	32.0	30.8					
	消費者物価指数	前年比%	1.2	3.9	1.8	2.8	1.7	1.3	1.4	1.3	1.6	1.9		
	うち食品	前年比%	3.4	10.0	2.9	6.1	2.7	1.2	1.7	1.6	2.2	3.6		
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	2.6	1.4	0.1	0.8	0.3	0.2	0.5	0.5	0.6	0.6		
生産者物価指数	前年比%	2.3	6.1	4.9	5.6	5.6	5.0	3.5	3.2	3.2	3.1			
金融	マネーサプライ (M2)	前年比%	19.6	14.9	17.6	14.2	15.7	17.9	17.6	18.3	17.6	19.2		
	インターバンク金利 (翌日物)	期中平均%	2.17	2.11	1.43	1.90	1.25	1.21	1.36	1.26	1.54	1.61	1.34	
	株価指数 (上海総合)	期末	1,497	1,267	1,161	1,181	1,081	1,156	1,161	1,099	1,161	1,258	1,299	
	為替レート (元/ドル)	期中平均	8.28	8.28	8.19	8.28	8.28	8.14	8.08	8.08	8.08	8.07	8.05	
	為替レート (円/元)	期中平均	14.0	13.1	13.4	12.6	13.0	13.7	14.5	14.7	14.7	14.3	14.6	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	3.2	8.6	7.3	6.0	7.3	8.3	7.6				
		うち民間消費	前年比%	0.9	7.3	3.7	4.2	2.7	4.1	3.7				
		うち固定資本形成	前年比%	0.9	3.0	3.9	0.4	4.9	2.8	7.5				
	名目GDP成長率	前年比%	3.3	4.7	7.0	4.7	6.7	8.5	7.9					
	消費	小売販売数量指数	前年比%	0.6	9.1	5.9	7.6	6.5	5.1	4.4	3.6	5.9	10.5	
		不動産	前年比%	12.0	26.7	17.7	22.1	22.5	20.3	6.9	6.2	5.8		
	不動産	うち家屋160㎡超 (香港島)	前年比%	0.2	44.9	20.7	22.8	38.0	20.7	4.3	18.5	6.4		
		不動産販売取引件数 (香港域内)	前年比%	2.8	40.6	2.7	13.2	57.3	9.4	31.7	44.1	45.8		
	貿易	貿易収支	10億HKドル	66.5	93.7	81.4	26.1	26.6	11.3	17.4	4.0	16.9	4.4	
		輸出 (香港ドルベース)	前年比%	11.6	15.8	11.4	10.5	12.5	12.5	10.0	11.5	6.7	4.2	
輸入 (香港ドルベース)		前年比%	11.6	16.8	10.3	8.1	10.1	11.5	11.3	13.6	10.6	0.6		
物価	消費者物価指数	前年比%	2.6	0.4	1.1	0.4	0.8	1.4	1.8	1.6	1.8	2.6		
金融	マネーサプライ (M3)	期末%	8.3	8.6	5.2	8.6	8.2	8.2	5.2	4.4	5.2	6.8		
	ハンセン指数	期末%	12,576	14,230	14,876	13,517	14,201	15,429	14,876	14,937	14,876	15,753	15,918	

(出所) CEIC 他 (注) 不動産景気指数は05年より基準が改訂され、それ以前とは不連続。

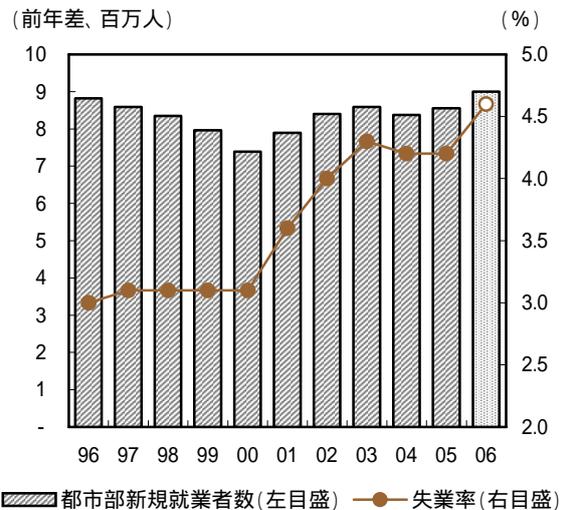
2. 中国の主要指標解説：06年の経済運営目標～成長率は8%前後

- ・ 3月5日に開幕した全国人民代表大会（全人代、日本の国会に相当）において2006年の経済運営目標が報告された。具体的には、今年から始まる第11次5カ年計画が好スタートを切れるように、GDP成長率は8%前後、単位GDP当りのエネルギー消費量の4%前後の削減、消費者物価上昇率3%以内、都市部の新規就業者数900万人、都市部の登録失業率4.6%以内、国際収支の基本的均衡を図る、とされている（日刊中国通信各号参照、以下も同様）。
- ・ また、第一にマクロ経済政策の安定が重視されており、例えば、人民元相場についても「合理的で均衡のとれた水準に基本的に安定させる」とされている。したがって政策要因によって景気がハードランディングする可能性は小さいと見られる。
- ・ 実際、都市と農村、沿岸部と内陸の経済格差の拡大が問題視されていることから、「地域間の調和の取れた発展」が謳われてはいるものの、同時に「東部地区の全国に先駆けた発展を奨励する」とされており、基本的に拡大維持の中で問題解決を図ろうとする方針が読み取れる。
- ・ なお、第11次5カ年計画期間中（2006年～2010年）の努力目標としてはGDP成長率年平均7.5%、都市部の登録失業率5%以内、物価の安定基調での推移、国際収支の改善、が掲げられている。また、ここでも「比較的速い発展を維持する」中で「経済成長方式の転換を急ぐ」こと、すなわち「調整」はあくまで「拡大」の前提のもとで行なわれることになっている。しかし、中国経済のグローバル化が進展する中で、こうした中国流の「成長なくして改革なし」路線が修正を余儀なくされる局面も出てくるのではないだろうか。

中国：06年の経済運営目標



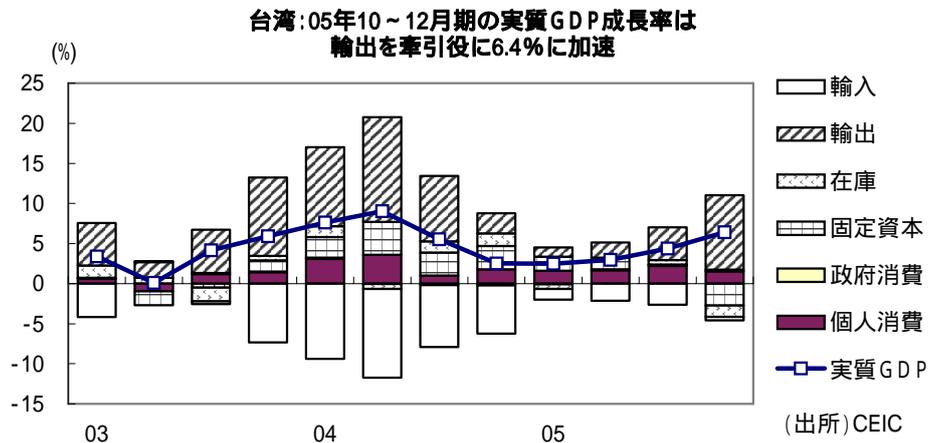
(出所)CEIC、他



(出所)CEIC、他

3. 台湾経済の概況

- ・ 輸出の堅調を背景に景気回復が続いている。2005年10～12月期の実質GDP成長率は、消費や投資など内需がいずれも鈍化したものの、これを大幅に上回る輸出の拡大を背景に、前年同期比6.4%と前期(同4.4%)からさらに加速した。その結果、年前半の景気鈍化にもかかわらず、2005年通年の成長率は前年比4.1%と中成長水準を維持した。
- ・ 輸出の好調は年明け以降も継続している。春節(旧正月)の休日を挟んだ1～2月の輸出は前年同期比14.2%増と堅調に推移している。1～2月の輸入も原油や電子製品を中心に同15.4%に拡大。2月単月の貿易収支は再輸出と再輸入を加算しない旧ベースで12億ドルの赤字となった。なお、1月の輸出受注額は前年同月比20.0%増と堅調であり、輸出の好調は当面続くと見られる。



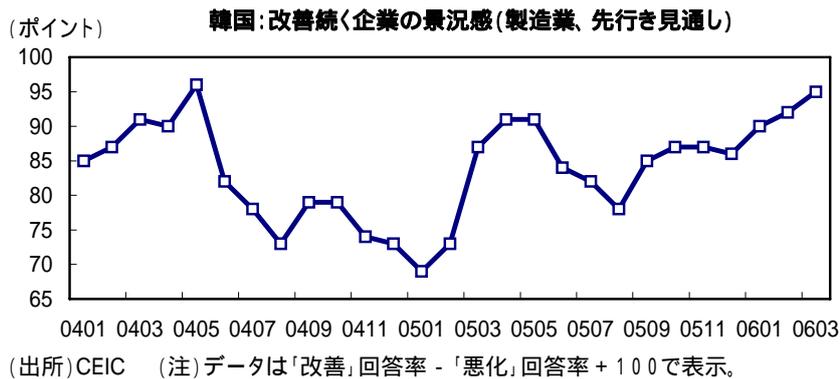
台湾の主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/1Q	2Q	3Q	4Q	05/11月	05/12月	06/1月	06/2月
GDP (yoy)	実質GDP	3.4	6.1	4.1	2.5	3.0	4.4	6.4				
	うち民間消費	0.9	3.9	3.0	2.6	3.0	3.7	2.8				
	うち総固定資本形成(うち民間企業)	0.9	17.5	0.5	10.8	7.4	0.3	11.8				
生産	鉱工業生産(yoy)	7.1	9.8	4.1	0.9	1.5	4.8	9.1	9.5	9.3	4.4	
貿易及び対外関連	貿易収支(10億ドル)	16.9	6.1	7.8	0.3	0.1	1.5	5.9	1.4	2.9	1.7	1.2
	輸出(yoy)	10.4	20.7	8.8	7.8	6.0	7.1	14.2	10.7	15.4	5.2	25.9
	輸出受注(yoy)	12.6	26.5	19.2	20.1	15.1	17.8	23.4	24.6	24.2	20.0	
	輸入(yoy)	13.1	31.9	8.2	12.6	10.6	9.8	0.9	5.5	10.9	6.9	47.1
関連	経常収支(10億ドル)	29.3	18.5	16.4	4.4	1.7	1.0	9.2				
	外貨準備高(10億ドル)	207	242	253	251	254	254	253	252	253	257	257
雇用	失業率	5.0	4.4	4.1	4.2	4.1	4.3	4.0	3.9	3.9	3.8	
物価金融	消費者物価(yoy)	0.3	1.6	2.3	1.6	2.1	3.0	2.5	2.5	2.2	2.7	1.0
	M2(yoy)	5.8	7.4	6.5	5.6	6.7	6.4	6.5	6.4	6.5	7.4	
	株価指数(加権指数)	5,891	6,140	6,548	6,006	6,242	6,119	6,548	6,203	6,548	6,532	6,562
	短期金利(オーバーナイト)	1.12	1.04	1.30	1.21	1.27	1.34	1.39	1.39	1.41	1.45	1.45
	為替レート(NTドル/ドル)	34.4	33.4	32.2	31.5	31.4	32.3	33.5	33.6	33.3	32.1	32.4
	為替レート(円/NTドル)	3.37	3.24	3.42	3.31	3.42	3.44	3.50	3.53	3.56	3.60	3.64

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算しない旧ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 輸出の堅調と内需の持ち直しを背景に、緩やかな景気回復が続いている。
- ・ 1月の鉱工業生産は、前年同月比ベースでは6.4%増と前月(同11.3%増)に比べて鈍化しているが、季節調整済みの前月比ベースでは6.1%増と98年9月以来、最も大幅な増加となった。内外需の堅調を背景に半導体、携帯電話、自動車の生産が拡大している。一方、1月の小売売上高は春節(旧正月)の贈答品需要から前年同月比9.8%増と好調に推移した。こうした中で企業の景況感も改善が続いている。
- ・ また、1月には春節の休日要因(今年の春節休みは2月)から前年同月比3.6%増に鈍化した輸出は2月には一転、同16.8%増と大幅な伸びとなった。ただし、輸入が同27.2%増と大幅に拡大したため、2月の貿易黒字は4億ドルと小幅にとどまった。
- ・ 全般的な景気の回復傾向が続いているにもかかわらず、2月の消費者物価上昇率は前年同月比2.3%に低下。韓国中銀はこうした物価の安定を背景に3月9日の金融政策委員会では政策金利の据え置き(2月に0.25%pt引き上げて4.00%)を決めた。



韓国の主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/1Q	2Q	3Q	4Q	05/11月	05/12月	06/1月	06/2月
GDP (yoy)	実質GDP	3.1	4.7	4.0	2.8	3.4	4.5	5.4				
	うち民間消費支出	1.2	0.5	3.2	1.4	2.8	3.9	4.6				
	うち固定資本形成	3.9	2.2	2.0	0.3	2.1	2.1	4.0				
	うち設備	1.2	3.8	5.1	3.1	2.8	4.5	9.8				
生産	鉱工業生産(yoy)	5.3	10.2	6.2	3.5	3.5	7.2	10.4	11.8	11.3	6.4	
消費	小売売上高(数量,yoy)	1.8	0.7	3.6	1.7	3.3	3.3	6.0	5.5	9.0	9.8	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	15.0	29.4	23.2	6.2	6.0	4.9	6.1	2.0	1.4	0.5	0.4
	輸出(yoy)	19.3	31.0	12.0	12.7	9.0	15.4	11.4	11.9	10.5	3.6	16.8
	輸入(yoy)	17.6	25.5	16.4	14.8	15.2	21.1	14.6	17.4	15.4	17.3	27.2
	経常収支(10億ドル)	11.9	28.2	16.6	5.9	2.6	2.6	5.4	2.2	0.5	0.1	
	外貨準備高(10億ドル)	155	199	210	205	205	207	210	208	210	217	216
雇用	失業率(季節調整済み)	3.4	3.5	3.5	3.9	3.5	3.4	3.3	3.1	3.4	3.5	
物価	消費者物価(yoy)	3.5	3.6	2.8	3.1	3.0	2.4	2.5	2.4	2.6	2.8	2.3
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	3.0	4.9	6.7	5.3	6.0	5.9	6.7	6.3	6.7	6.8	
	株価指数(総合)	811	896	1,379	966	1,008	1,221	1,379	1,297	1,379	1,400	1,372
	為替レート(ウォン/ドル)	1,192	1,140	1,023	1,020	1,010	1,032	1,031	1,036	1,013	971	969
	為替レート(円/100ウォン)	9.6	9.5	10.8	10.4	10.7	10.9	11.4	11.5	11.7	12.1	12.0
	C/Dレート(3ヵ月物)	4.31	3.79	3.65	3.54	3.51	3.57	3.98	3.96	4.04	4.15	4.25

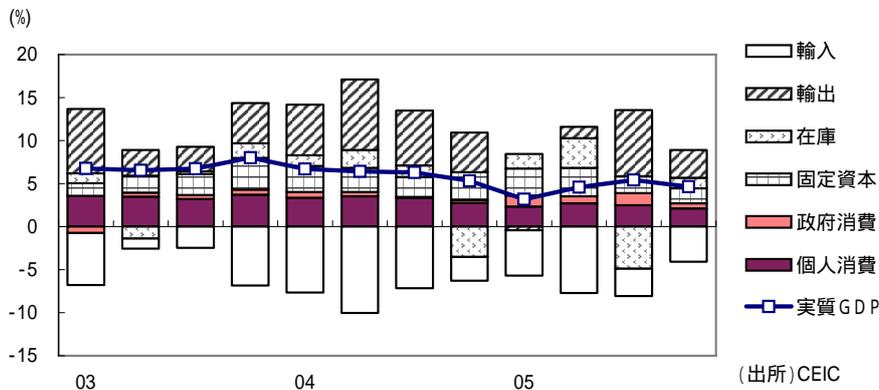
(出所)CEIC (注)yoy = 前年比(%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・ 輸出の堅調を背景に緩やかな景気回復が続いている。05年10~12月期の実質GDP成長率は投資の一服と原油高、金利高止まりを背景とした消費の鈍化から前年同期比4.7%に減速。05年通年の成長率も4.5%にとどまった。しかし、世界的な需要増を背景に電子部品などの生産、輸出は足元も堅調に推移している。
- ・ こうした中で、タイ中銀はインフレ圧力が続いているとして1月に続いて3月8日にも政策金利を0.25%ポイント引き上げ4.50%とした(次の政策会合は4月10日)。
- ・ 当面の懸念材料は政局の混乱の景気への悪影響である。4月2日に予定通り総選挙が行なわれた場合でも政治日程の空白が成長率の押し下げ要因になるとみられる。

タイ: 内需鈍化で05年10~12月期の成長率は4.7%にとどまる



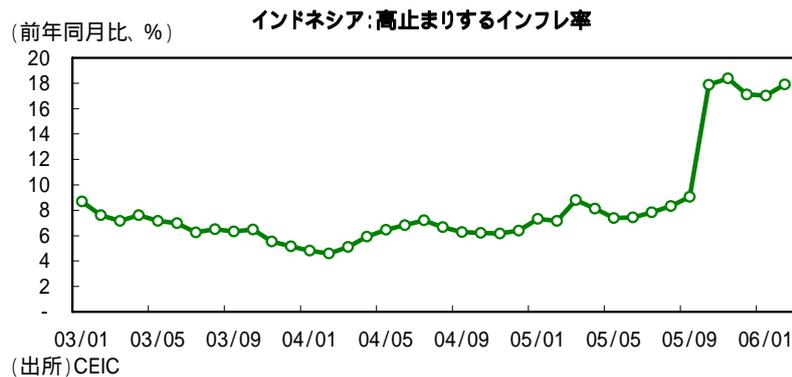
タイの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/1Q	2Q	3Q	4Q	05/11月	05/12月	06/1月	06/2月
GDP (yoy)	実質GDP	7.0	6.2	4.5	3.2	4.6	5.4	4.7				
	民間消費	6.4	5.9	4.4	4.4	4.7	4.5	4.0				
	総固定資本形成	12.1	13.8	11.3	15.0	14.3	8.4	7.9				
生産	製造業生産指数(yoy)	13.9	11.7	9.2	6.3	11.6	11.7	7.2	7.9	5.8	5.7	
消費	総合消費指数(yoy)	5.3	4.0	0.7	0.2	1.1	0.4	1.0	0.2	2.2	0.7	
投資	民間企業投資指数(yoy)	13.8	11.7	7.9	7.8	10.5	8.8	4.4	1.7	5.4	3.6	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	5.2	2.7	7.7	3.0	5.2	0.7	0.3	0.1	0.1	0.4	
	輸出(yoy)	16.4	21.8	13.5	12.4	11.6	20.1	9.8	11.8	11.5	13.6	
	輸入(yoy)	16.6	26.6	24.8	28.6	34.0	18.7	18.7	13.2	27.1	1.8	
国際収支	経常収支(10億ドル)	8.0	6.9	3.7	1.4	4.5	1.2	0.9	0.4	0.4	0.5	
	外貨準備高(10億ドル)	42.1	49.8	52.1	48.7	48.4	49.8	52.1	50.7	52.1	53.2	
雇用	失業率(季調前)	2.2	2.1	1.9	2.6	2.0	1.4	1.5	1.2	1.4	2.2	
物価	消費者物価(総合,yoy)	1.8	2.8	4.5	2.8	3.7	5.6	6.0	5.9	5.8	5.9	5.6
	消費者物価(コア,yoy)	0.1	0.4	1.6	0.7	1.1	2.2	2.4	2.4	2.6	2.5	2.7
金融	M2(yoy)	4.9	5.4	8.2	4.1	3.3	6.6	8.2	7.2	8.2	10.7	
	商銀貸出残高(yoy)	3.6	6.7	8.1	5.7	4.2	4.1	8.1	6.4	8.1	8.3	
	不良債権比率(3M基準,%)	12.7	10.7	8.2	10.7	10.3	9.9	8.2				
	株価指数(SET)	772	668	714	681	676	723	714	668	714	763	744
	為替レート(円/ドル)	41.5	40.2	40.2	38.6	40.0	41.3	41.0	41.1	41.0	39.6	39.4
	為替レート(円/ユーロ)	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.9	2.9	2.9	2.9	3.0
	インターバンク金利(3M)	1.56	1.62	3.28	2.55	2.68	3.53	4.37	4.35	4.50	4.60	4.75

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)

2. インドネシア経済の概況

- ・ 物価高と金利高を背景に内需の減速が続いており、景気は弱含んでいる。1月の小売売上は前年同月比27.1%減と大幅に減速した。
- ・ 一方、輸出は石油ガスを除くベースでも、日本向け、近隣ASEAN諸国向け、中国向けなどを中心に堅調な拡大が続いている。また、石油補助金削減、利上げといったマクロ経済政策を市場は一定の評価をしていると見られ、為替市場ではルピア高傾向が続いている。
- ・ インドネシア中銀は、2月の消費者物価上昇率が前年同月比17.9%と依然高止まりしているにもかかわらず、3月7日の総裁会でも政策金利の据え置き(12.75%)を決めた。政策金利は昨年12月以降、据え置かれている。これは中銀がインフレ抑制よりも景気を重視しているためと考えられるが、今後、景気鈍化に歯止めがかかり、さらに計画中の電気料金の引き上げが実施された場合には、利上げが再開されると見られる。



インドネシアの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/1Q	2Q	3Q	4Q	05/11月	05/12月	06/1月	06/2月
GDP (yoy)	実質GDP	4.7	5.1	5.6	6.3	5.6	5.6	4.9				
	民間消費支出	3.9	5.0	4.0	3.4	3.8	4.4	4.2				
	総固定資本形成	0.6	14.6	9.9	14.1	15.6	9.4	1.8				
生産	製造業生産(yoy)	5.5	3.3	3.9	6.5	3.8	0.4	5.2				
消費	小売売上(yoy)	7.0	7.3	15.0	27.5	27.3	10.6	3.0	0.1	14.6	27.1	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	28.5	25.1	28.0	6.3	6.0	6.6	9.2	2.8	3.3	3.2	
	輸出(yoy)	6.8	17.2	19.6	32.2	24.2	12.0	13.8	12.5	22.1	22.5	
	(除く石油ガス,yoy)	5.2	18.0	18.6	35.1	26.9	8.1	10.3	11.5	17.8	16.1	
	輸入(yoy)	4.0	42.9	23.8	33.1	38.3	22.8	5.5	5.0	3.7	3.6	
国際収支	経常収支(10億ドル)	8.1	3.1		1.2	0.8	0.0					
	外貨準備高(10億ドル)	36.3	36.3	34.7	36.0	33.9	30.3	34.7	33.2	34.7	35.1	
物価	消費者物価(yoy)	6.8	6.1	10.5	7.8	7.6	8.4	17.8	18.4	17.1	17.0	17.9
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	8.1	8.1	16.4	9.1	10.1	16.6	16.4	16.8	16.4		
	株価指数(総合)	692	1,000	1,163	1,080	1,122	1,079	1,163	1,097	1,163	1,232	1,231
	為替レート(ルピア/ドル)	8,571	8,985	9,751	9,302	9,593	10,123	9,985	10,035	9,830	9,395	9,230
	為替レート(円/100ルピア)	1.35	1.20	1.13	1.12	1.12	1.10	1.17	1.18	1.21	1.23	1.28
	中銀賃金利(3ヵ月)	10.17	7.39	9.16	7.29	7.79	8.98	12.58	12.83	12.83	12.92	12.92

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/1Q	2Q	3Q	4Q	05/11月	05/12月	06/1月	06/2月
GDP (yoy)	実質GDP	5.4	7.1	5.3	6.2	4.4	5.3	5.2				
	民間消費	6.6	10.5	9.2	10.1	7.4	10.4	9.0				
	総固定資本形成	2.7	3.1	4.7	2.0	6.7	9.6	0.4				
生産	鉱工業生産(yoy)	9.3	11.3	4.0	5.4	2.3	3.3	5.1	6.6	4.2		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	21.4	21.2	26.4	6.6	6.0	6.2	7.6	2.3	2.5	2.5	
	輸出(yoy)	11.6	20.5	11.4	13.7	10.8	8.3	13.3	11.8	13.2	11.7	
	輸入(yoy)	4.8	25.9	8.9	10.1	8.0	9.4	8.1	5.9	8.1	9.2	
国際収支	経常収支(10億ドル)	13.3	14.9		20.9	17.9	19.1					
	外貨準備高(10億ドル)	45	67	70	72	75	80	70	73	70	71	
雇用	失業率(%)	3.6	3.6		3.5	3.1	3.8					
物価	消費者物価(yoy)	1.1	1.4	3.1	2.4	3.0	3.4	3.4	3.5	3.5		
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	11.1	25.4	15.4	25.7	32.2	24.2	15.4	15.9	15.4	16.6	
	貸出残高(yoy)	5.2	26.0	17.5	26.5	35.2	27.0	17.5	17.9	17.5	23.0	
	不良債権比率(3M基準,%)	8.9	7.5	5.8	7.2	6.7	6.1	5.8	6.0	5.8	5.9	
	株価指数(総合)	794	907	900	871	888	928	900	896	900	914	929
	為替レート(リキ/\$)	3.80	3.80	3.79	3.80	3.80	3.77	3.78	3.78	3.78	3.75	3.73
	為替レート(円/リキ)	30.5	28.5	29.1	27.5	28.3	29.5	31.0	31.3	31.4	30.8	31.6
	インターバンク金利(3M,%)	2.88	2.84	2.87	2.79	2.82	2.88	3.00	2.93	3.15	3.21	n.a.

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

【フィリピンの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/1Q	2Q	3Q	4Q	05/11月	05/12月	06/1月	06/2月
GDP (yoy)	実質GDP	4.5	6.0	5.1	4.6	5.2	4.5	6.1				
	民間消費支出	5.3	5.8	4.9	5.0	4.8	4.8	5.2				
	固定資本形成	2.3	4.2	3.0	4.4	3.9	2.1	1.4				
生産	鉱工業生産(yoy)	0.0	1.0	2.1	0.7	1.5	0.2	6.0	10.8	0.1		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	4.2	4.4	3.8	0.5	1.6	1.2	0.5	0.1	0.1		
	輸出(yoy)	2.9	9.5	3.6	3.3	3.3	4.1	3.5	1.5	16.8		
	輸入(yoy)	3.1	8.8	2.0	6.5	3.4	4.9	5.8	1.4	21.7		
国際収支	経常収支(10億ドル)	1.4	2.1		0.7	0.4	0.2					
	外貨準備高(10億ドル)	14.1	14.6	17.7	15.4	16.7	17.7	17.7	17.2	17.7	19.8	
物価	消費者物価(yoy)	3.5	6.0	7.7	8.5	8.2	7.1	6.9	7.1	6.7	6.7	7.6
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	3.3	9.4		12.2	13.4	14.3		11.4			
	株価指数(総合)	1,442	1,823	2,096	1,955	1,924	1,942	2,096	2,100	2,096	2,145	2,123
	為替レート(ペソ/ドル)	54.4	56.2	55.0	54.9	54.9	56.1	54.0	54.0	53.1	52.3	52.1
	為替レート(円/ペソ)	2.13	1.93	2.00	1.90	1.96	1.98	2.17	2.19	2.23	2.21	2.26
	TB(3ヵ月,%)	5.87	7.32	6.10	7.02	6.18	5.71	5.48	5.39	5.20	4.91	5.14

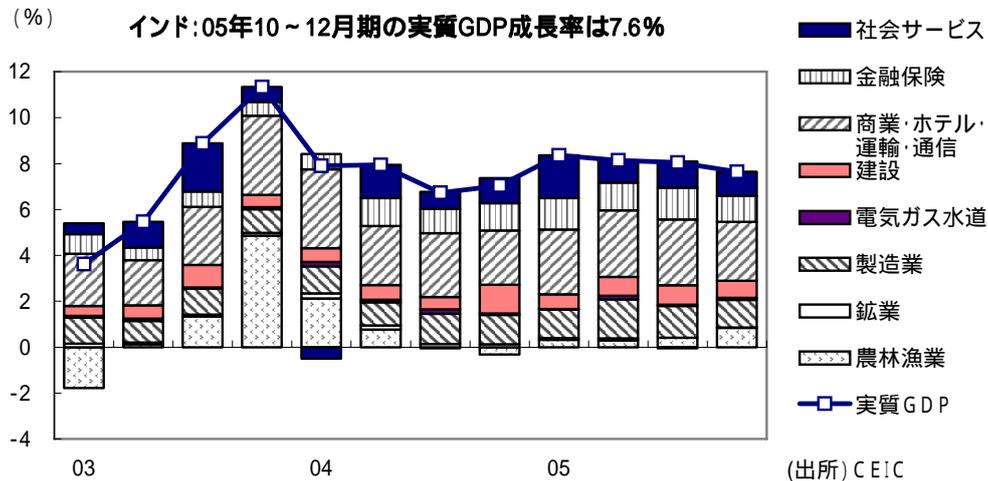
(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

【シンガポールの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/1Q	2Q	3Q	4Q	05/11月	05/12月	06/1月	06/2月
GDP (yoy)	実質GDP	2.9	8.7	6.4	3.4	5.7	7.6	8.7				
	民間消費	0.9	5.9	2.5	2.6	2.1	1.2	4.0				
	総固定資本形成	3.2	10.2	1.9	7.9	6.4	6.8	15.0				
生産	鉱工業生産(yoy)	3.0	13.5	9.4	4.0	5.9	12.6	14.7	20.9	6.2	5.2	
消費	小売売上指数(yoy)	8.7	13.5	9.0	6.1	11.7	10.3	8.2	4.0	9.5		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	15.9	17.4	29.6	6.0	6.5	7.9	9.2	3.2	3.8	3.1	
	輸出(yoy)	16.9	25.0	25.5	27.5	25.2	27.3	22.5	21.5	22.6	18.2	
	輸入(yoy)	12.0	26.9	20.8	22.7	19.9	21.1	19.9	16.4	21.4	10.0	
国際収支	経常収支(10億ドル)	22.3	26.3	33.3	10.6	13.0	15.8	16.0				
	外貨準備高(10億ドル)	96	113	117	113	115	116	117	115	117	120	
雇用	失業率(季調,%)	4.0	3.4	3.1	3.3	3.4	3.3	2.5				
物価	消費者物価(yoy)	0.5	1.7	0.5	0.3	0.1	0.5	1.1	1.0	1.3	1.7	
金融	マネーサプライ(M2,%)	8.1	6.2	6.2	4.3	4.6	8.3	6.2	7.6	6.2	6.6	
	株価指数(ストリート)	1,765	2,066	2,347	2,141	2,213	2,305	2,347	2,300	2,347	2,412	2,482
	為替レート(S\$/S)	1.742	1.690	1.665	1.636	1.659	1.676	1.688	1.699	1.675	1.633	1.629
	為替レート(円/S\$)	66.5	64.0	66.2	63.9	64.8	66.4	69.5	69.7	70.7	70.7	72.3
	インターバンク金利(3M,%)	0.74	1.05	2.29	1.92	2.08	2.15	3.02	3.19	3.25	3.38	3.38

4. インド経済の概況

- 内外需の堅調を背景に景気の拡大が続いている。05年10~12月期の実質GDP成長率は、商業・ホテル・運輸・通信、製造業、金融保険の各セクターが引続き牽引役を担ったものの、いずれも前期からやや鈍化したため、前年同期比7.6%と8%台を下回った。一方、農業セクターは十分な降雨量を背景に生産が拡大し、GDP成長率に対する寄与度も高まった。その結果、05年暦年(1~12月)の実質GDP成長率は8.0%と前年(7.4%)からさらに加速した。なお、2月末発表の06年度(06年4月~07年3月)予算案には、05年度の成長率見通しは8.1%、また06年度以降は年10%の経済成長を目標とすることが盛り込まれている。
- 高成長が続く中で、インフレ圧力が高まりつつあるが、1月の消費者物価上昇率は豆類、果物、野菜などの価格低下から前年同月比4.4%に低下した。



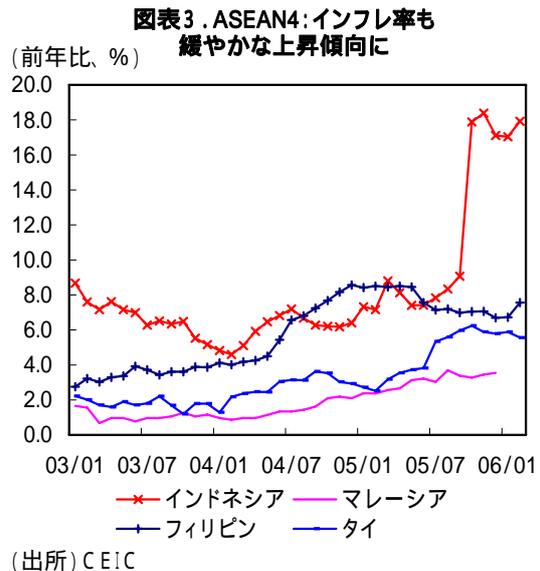
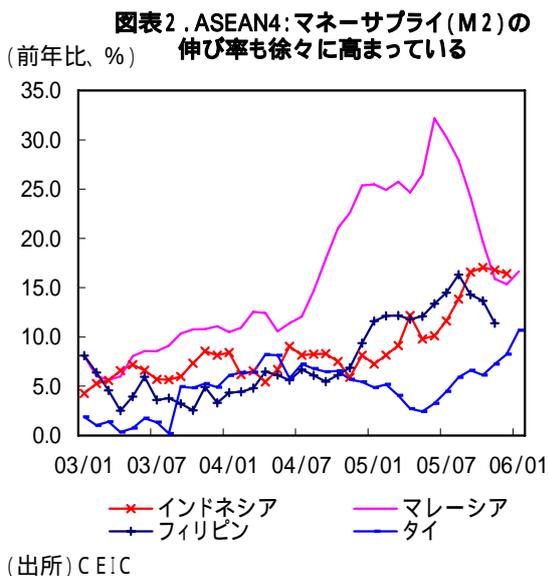
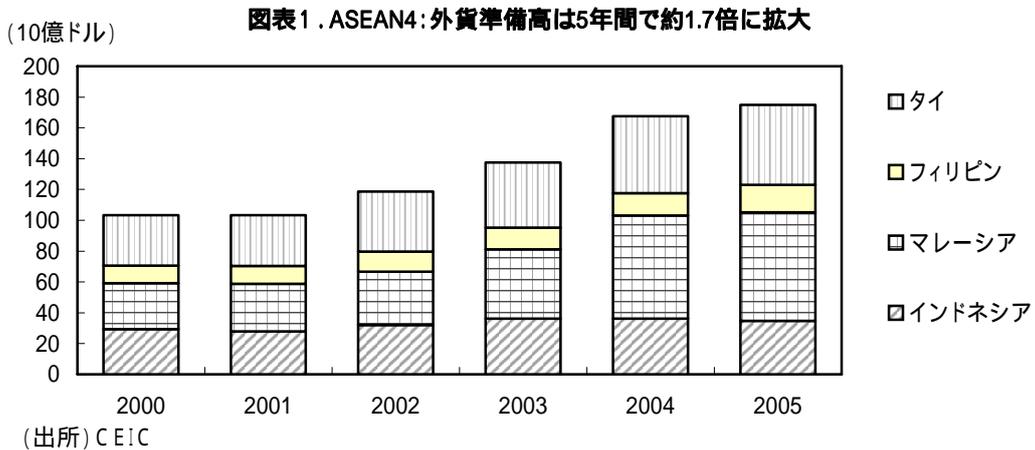
インドの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/1Q	2Q	3Q	4Q	05/11月	05/12月	06/1月	06/2月
GDP (yoy)	実質GDP	7.3	7.4	8.0	8.4	8.1	8.0	7.6				
	農業生産	5.2	2.8	2.3	1.5	1.4	2.4	3.4				
	実質GDP(年度)	8.5	7.5									
	農業生産(年度)	10.0	0.7									
生産	鉱工業生産(yoy)	6.6	8.5	7.8	7.8	10.4	6.5	6.7	6.1	5.0		
	貿易収支(10億ドル)	13.7	21.7	39.1	8.3	10.2	11.1	9.4	3.7	2.7	2.9	
輸出入	輸出(yoy)	16.7	31.5	18.6	19.8	23.2	21.6	10.9	11.4	16.2	21.5	
	輸入(yoy)	26.0	36.5	32.4	45.5	35.6	37.6	15.0	8.7	8.4	10.7	
	経常収支(10億ドル)	8.8	1.4		0.5	5.3	7.7					
国際収支	外貨準備高(10億ドル)	97.6	125.2	131.0	135.6	132.4	136.9	131.0	136.6	131.0	133.3	
	卸売物価(yoy)	5.3	6.6	4.7	5.3	5.3	4.0	4.5	4.2	4.4	4.3	
物価	消費者物価(yoy)	3.8	3.8	4.2	4.2	4.0	3.7	5.0	5.3	5.6	4.4	
	マネーサプライ(M3,yoy)	13.0	12.8	17.9	12.4	13.7	18.1	17.9	17.2	17.9	17.3	16.2
金融	株価指数(BSE Sensitive)	5,839	6,603	9,398	6,493	7,194	8,634	9,398	8,789	9,398	9,920	10,370
	為替レート(ルピー/ドル)	46.5	45.2	44.1	43.7	43.6	43.8	45.4	45.9	45.1	44.1	44.4
	為替レート(円/ルピー)	2.49	2.39	2.50	2.39	2.46	2.54	2.58	2.58	2.6	2.6	2.7
	T B3ヶ月	4.92	4.70	5.43	5.30	5.23	5.39	5.81	5.74	6.11	6.69	

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%), 年度は4月から翌年3月

5. ASEAN経済の注目点～外貨準備高の大幅増とインフレ懸念

- ・ アジア諸国を中心としたかつてないほど急速かつ大幅な外貨準備の積み上がりが、インフレと資産バブルを引き起こす懸念があるとのレポートを欧州中銀が発表した。同レポートの焦点は昨年末時点で8千億ドル超の外貨準備を保有する日本、中国にある。しかし、ASEAN諸国でも、水準こそこれら両国にはるかに及ばないものの、近年外貨準備が速いテンポで積み上がっており（図表1）、足元、景気を持ち直し傾向とも相まって、マネーサプライの伸び率、消費者物価上昇率に緩やかな上昇傾向が見られる（図表2、3）。
- ・ 加えて、タイ、フィリピンで政局の不安定化傾向も見られる。もっとも昨今のインフレや政局の不安定さはかつて途上国の代名詞であったような高インフレ、政局混乱に比べれば穏やかなものと見られるが、今後の動向には注意が必要だろう。

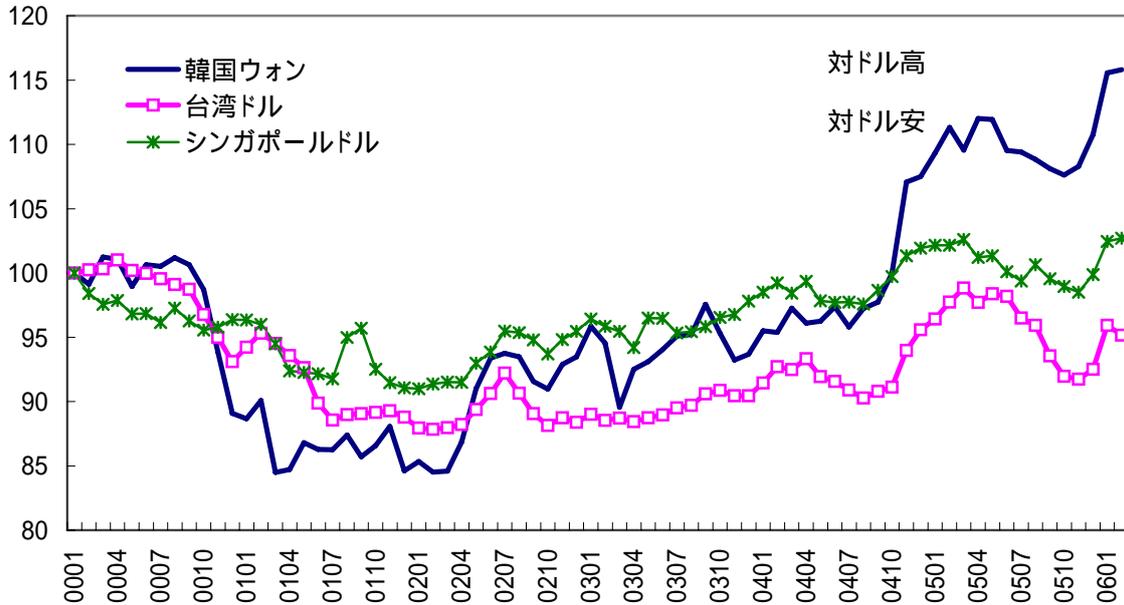


アジア通貨・株価動向

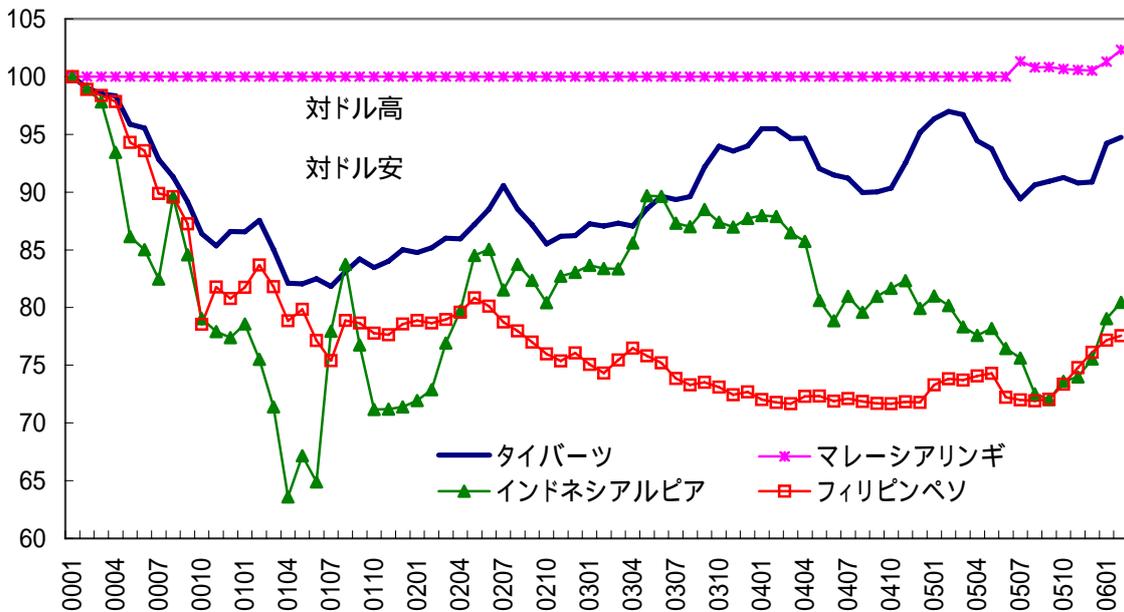
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

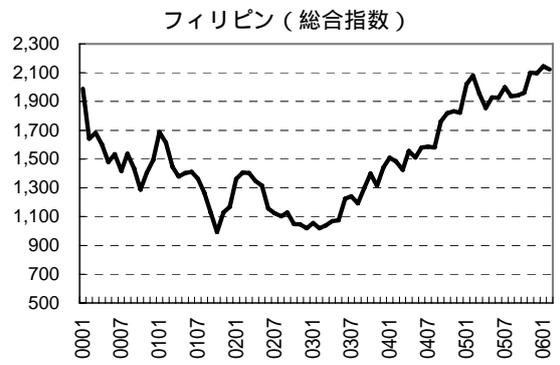
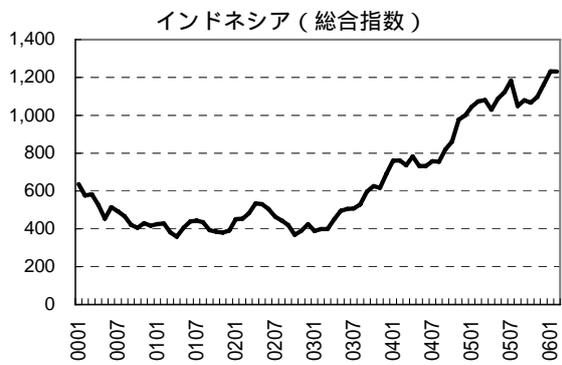
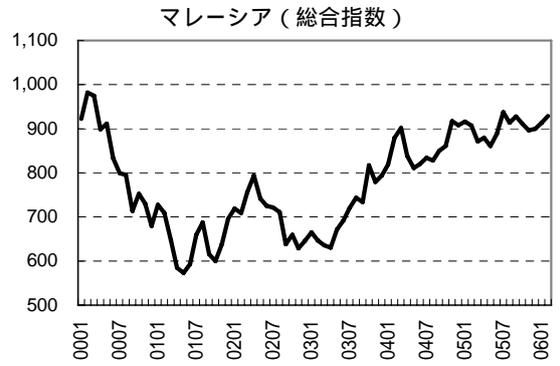
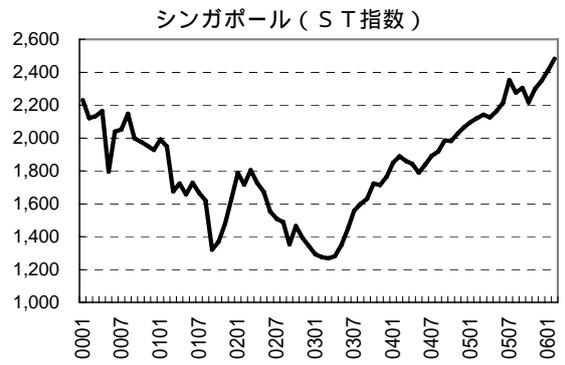
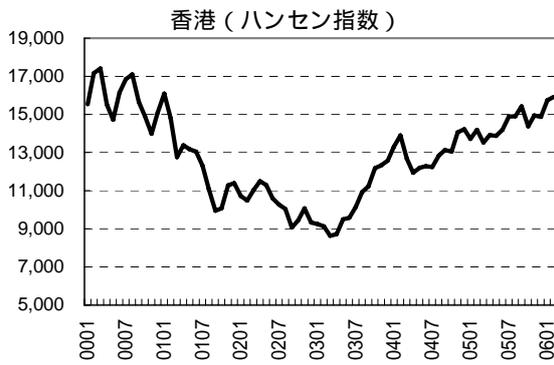
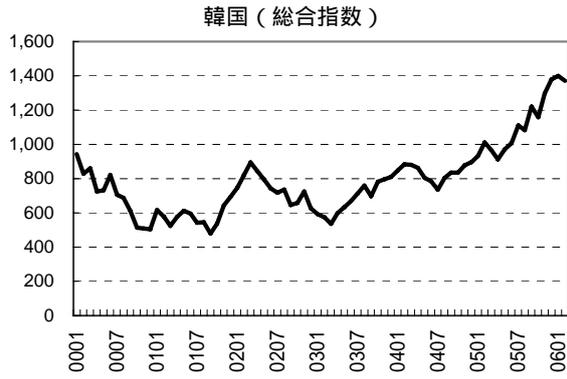


(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向



（出所）CEIC